

研究課題名「小児、思春期・若年成人における造血細胞移植後肺高血圧症の実態調査とリスク因子の解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年8月1日から2017年7月31日まで名古屋大学医学部附属病院小児科で造血細胞移植を受けた小児、思春期・若年成人の方です。

2. 研究背景・意義・目的・方法・研究期間

造血細胞移植は多くの血液・悪性疾患で根治療法でありその合併症を克服することは重要です。造血細胞移植後の稀ですが致死率が高いとされている肺高血圧症は、おもに肺動脈性肺高血圧症（PAH）と肺静脈閉塞症（PVOD）に分類されます。造血細胞移植後に発症したPAHあるいはPVODについて報告例は世界的にも少なく、本邦では症例報告のみでその実態は明確ではありません。また近年、肺高血圧症に対する理解が深まり、種々の治療法が開発されてきております。そこで造血細胞移植後肺高血圧症の臨床的特徴を後方視的に検討するとともに発症リスク因子、移植前後の心エコー検査の意義、治療の実際などを明らかにしようとするのが、本研究の目的です。研究期間は生命倫理審査の2020年7月7日から2022年3月31日までを予定しています。

3. 研究の方法、研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報（年齢、性別、身長・体重、原疾患とその治療内容、心エコー検査、画像検査、疾患予後など）と肺高血圧症の症例では肺高血圧症に対する治療法や治療反応性を集計して、統計学的手法を用いて検討します。過去のデータを調べる研究であるため、新規での血液などの検体採取や医療面接などは行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、解析終了後または学会・論文での発表後はデータを削除できないことがあります。

照会先：名古屋大学医学部附属病院小児科 川島 希

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2294 FAX 052-744-2974